



## 2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月9日

上場会社名 株式会社 テリロジー

上場取引所 東

コード番号 3356 URL <https://www.terilogy.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 阿部 昭彦

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理部長 (氏名) 廣谷 慎吾

TEL 03-3237-3291

四半期報告書提出予定日 2020年11月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及びアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	1,941	5.5	170	177.6	177	144.2	117	171.7
2020年3月期第2四半期	1,839	18.4	61	8.8	72	65.2	43	37.3

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 116百万円 (174.0%) 2020年3月期第2四半期 42百万円 (43.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	7.09	7.08
2020年3月期第2四半期	2.64	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	4,257	2,306	54.0
2020年3月期	4,203	2,269	53.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 2,299百万円 2020年3月期 2,265百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		5.00	5.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,180	3.2	200	24.2	200	30.6	140	34.8	8.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	16,580,000 株	2020年3月期	16,580,000 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	72 株	2020年3月期	72 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	16,579,928 株	2020年3月期2Q	16,375,179 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大に伴う経済活動の抑制により、景気の先行きは極めて不透明な状態が続いています。

このような状況の中、当社グループでは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の一環として、テレワークや在宅勤務、時差出勤等の励行など、働き方の抜本的な見直しが求められる中、テレワーク環境を実現するネットワーク基盤の構築、情報漏えいを防ぐセキュリティ対策、テレワークで注目のビデオ会議などの引き合いは増加しました。

また、社会生活や経済活動でのインターネットへの依存度の高まりによりサイバー攻撃リスクが増加したことで、サイバーセキュリティ対策やOT/IoTのセキュリティ対策に向けた「サイバースレットインテリジェンスサービス」、「脆弱性診断サービス」、「産業系制御システムのセキュリティ対策」の受注活動に注力しています。

なお、働き方改革を背景に業務効率化や生産性向上を図る「究極的にカンタンなRPAツール」、在留外国人に向けた新型コロナウイルス対応の外国語通訳支援の「多言語リアルタイム映像通訳サービス」では、当社グループのオリジナリティを発揮し、各分野での独自のポジションを確立する営業活動を展開しました。

当第2四半期連結累計期間における部門別の概要は次のとおりであります。

#### (ネットワーク部門)

当部門では、業務系ネットワークと制御系ネットワーク（IT/OT）の統合による次世代ネットワーク基盤強化への取り組みが広がりを見せる中、当社グループの主要顧客である国内大手製造業を中心に、IPアドレス管理サーバのリプレース需要が増加したことで、ユーザ管理システム構築案件の受注活動は堅調に推移しました。

また、セキュアなクラウド型無線LANシステムを採用したネットワーク構築案件の受注活動についても、引き続き堅調に推移しています。

なお、今期より販売を開始したRadware製品は、前総販売代理店からの顧客の巻き取り活動により、次世代ネットワーク最適化案件などの受注の獲得に繋がっています。

この結果、売上高は518百万円（前年同期432百万円、前年同期比19.7%増）となりました。

#### (セキュリティ部門)

当部門では、国際的なスポーツ競技大会の開催延期、社会生活や経済活動でのインターネットへの依存度の増大によりサイバー攻撃へのリスクが高まっています。これにより、電力系などの重要インフラや工場及びビル管理などの産業制御システムのセキュリティ対策が緊急を要したことから、制御システム・セキュリティリスク分析案件への引き合いは増加し、受注に繋がりました。

また、外部からの不正アクセスや標的型攻撃などの高度化・巧妙化するサイバー攻撃への対策として、ネットワーク不正侵入防御セキュリティや標的型攻撃対策クラウドサービスなどのセキュリティ案件の受注活動は堅調に推移しています。

なお、ダークネットと呼ばれる匿名性の高いネットワークにて、APTに代表される高度な技術を持つ攻撃集団、あるいはサイバー犯罪グループなどがやり取りする悪意ある情報を収集、分析し、契約先企業に提供するサイバースレットインテリジェンスサービスや、サプライチェーンのリスクを可視化するサイバーリスク自動評価サービスの受注活動についても、引き続き堅調に推移しました。

この結果、売上高は690百万円（前年同期587百万円、前年同期比17.4%増）となりました。

#### (モニタリング部門)

当部門では、新型コロナウイルスの感染拡大による在宅勤務の急速な広がりからデータ通信量は増加傾向にあります。これにより、当社グループ独自のパケットキャプチャ製品を採用したネットワーク監視やセキュリティ対策、トラブルシューティング対応などの案件の獲得に向け、受注活動に注力しました。

また、当社開発の運用監視クラウドサービスは、当社グループの主要顧客を中心に受注活動に努めています。

なお、第1四半期連結累計期間に受注のパケットキャプチャ製品を採用したネットワークモニタリング案件については、機器の納入が完了したことから当第2四半期連結累計期間にて売上を計上しております。

この結果、売上高は345百万円（前年同期415百万円、前年同期比16.7%減）となりました。

(ソリューションサービス部門)

当部門の多言語リアルタイム映像通訳サービスでは、新型コロナウイルスの感染拡大の影響から訪日外国人旅行者の急減による需要の減少が見られたものの、在留外国人に対応する自治体や医療機関などでの窓口業務の需要が拡大しています。

また、これまでの通訳サービスで培った経験を基に翻訳サービスの提供を開始するなど、多言語ニーズの高い領域での新たなビジネスモデルの創出により、収益源の多様化に努めています。

なお、新型コロナウイルスの感染防止対策の一つであるテレビ会議サービスでは、テレワーク対応企業、対面面接、訪問商談に代わる採用・営業活動の目的として、人事・営業部門、医療機関、研究機関からの引き合いが増加し、契約件数は増加しました。

その他、当社グループ独自のRPAツール「EzAvater」の販売強化に向けて、販売代理店網の拡大強化とブランドの知名度向上のためのマーケティング活動に注力しています。

この結果、売上高は387百万円（前年同期403百万円、前年同期比4.0%減）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における受注高は2,015百万円（前年同期1,808百万円、前年同期比11.4%増）、売上高は1,941百万円（前年同期1,839百万円、前年同期比5.5%増）、受注残高は375百万円（前年同期333百万円、前年同期比12.7%増）となりました。

損益面につきましては、新型コロナウイルス感染拡大により事業活動が制限される中、売上高の増加と利益率の向上により利益は増加しました。

この結果、営業利益170百万円（前年同期は61百万円の利益）、経常利益177百万円（前年同期は72百万円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純利益117百万円（前年同期は43百万円の利益）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は3,338百万円となり、前連結会計年度末に比べ65百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が228百万円増加したものの受取手形及び売掛金が424百万円減少したことによるものであります。固定資産は919百万円となり、前連結会計年度末に比べ120百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が26百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は1,510百万円となり、前連結会計年度末に比べ115百万円減少いたしました。これは主に買掛金が301百万円減少したものの、前受金が213百万円増加したことによるものであります。固定負債は440百万円となり、前連結会計年度末に比べ132百万円増加しました。これは主に長期借入金が127百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は2,306百万円となり、前連結会計年度末に比べ37百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が34百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は54.0%（前連結会計年度末は53.9%）となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,895,523	2,124,142
受取手形及び売掛金	871,642	447,328
商品	96,528	92,327
仕掛品	5,621	18,398
前渡金	465,303	576,233
その他	70,940	81,052
貸倒引当金	△1,049	△843
流動資産合計	3,404,511	3,338,639
固定資産		
有形固定資産	147,079	173,408
無形固定資産		
のれん	218,969	282,646
その他	121,013	117,671
無形固定資産合計	339,982	400,317
投資その他の資産	311,735	345,559
固定資産合計	798,797	919,285
資産合計	4,203,308	4,257,925
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	451,276	149,531
1年内返済予定の長期借入金	130,040	146,297
前受金	787,724	1,000,960
賞与引当金	27,241	31,749
未払法人税等	41,570	49,483
未払消費税等	50,150	47,509
その他	138,211	85,317
流動負債合計	1,626,215	1,510,848
固定負債		
長期借入金	256,570	384,089
退職給付に係る負債	32,869	36,045
資産除去債務	11,400	11,400
その他	7,029	8,948
固定負債合計	307,868	440,483
負債合計	1,934,083	1,951,331
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,581,306	1,581,306
資本剰余金	414,158	414,158
利益剰余金	267,322	301,953
自己株式	△67	△67
株主資本合計	2,262,718	2,297,349
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	3,111	2,530
その他の包括利益累計額合計	3,111	2,530
新株予約権	3,394	6,712
純資産合計	2,269,225	2,306,593
負債純資産合計	4,203,308	4,257,925

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	1,839,613	1,941,516
売上原価	1,172,731	1,122,425
売上総利益	666,882	819,091
販売費及び一般管理費	605,624	649,047
営業利益	61,258	170,043
営業外収益		
受取利息	87	36
為替差益	4,364	470
デリバティブ評価益	1,275	-
貸倒引当金戻入額	8,804	-
助成金収入	-	9,317
その他	48	443
営業外収益合計	14,579	10,268
営業外費用		
支払利息	2,936	2,226
デリバティブ評価損	-	70
その他	12	55
営業外費用合計	2,949	2,352
経常利益	72,888	177,959
特別利益		
事業譲渡益	2,199	-
特別利益合計	2,199	-
税金等調整前四半期純利益	75,087	177,959
法人税、住民税及び事業税	1,050	40,001
過年度法人税等	△3,718	△6,822
法人税等調整額	34,498	27,257
法人税等合計	31,830	60,436
四半期純利益	43,257	117,522
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	43,257	117,522

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	43,257	117,522
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△582	△580
その他の包括利益合計	△582	△580
四半期包括利益	42,674	116,942
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	42,674	116,942
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	75,087	177,959
減価償却費	50,896	58,547
のれん償却額	14,280	16,279
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,864	4,507
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△8,919	△206
受取利息及び受取配当金	△87	△36
支払利息	2,936	2,226
売上債権の増減額 (△は増加)	265,852	424,313
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△43,181	△8,576
仕入債務の増減額 (△は減少)	△100,608	△301,745
前受金の増減額 (△は減少)	280,227	222,084
前渡金の増減額 (△は増加)	△105,224	△110,929
その他	△120,601	△78,189
小計	313,524	406,236
利息及び配当金の受取額	71	36
利息の支払額	△3,142	△2,229
法人税等の支払額	△56,527	△27,069
法人税等の還付額	3,718	4,493
営業活動によるキャッシュ・フロー	257,643	381,467
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△190,284	△270,000
定期預金の払戻による収入	190,282	375,019
有形固定資産の取得による支出	△28,731	△38,856
無形固定資産の取得による支出	△33,298	△29,328
投資有価証券の取得による支出	-	△57,336
事業譲渡による収入	5,771	-
敷金及び保証金の回収による収入	-	91
敷金及び保証金の差入による支出	△272	△3,006
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	35,064
投資活動によるキャッシュ・フロー	△56,531	11,646
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	-	100,000
長期借入金の返済による支出	△72,520	△67,903
新株予約権の行使による株式の発行による収入	612,414	-
リース債務の返済による支出	△6,080	△3,007
配当金の支払額	-	△81,492
財務活動によるキャッシュ・フロー	533,814	△52,403
現金及び現金同等物に係る換算差額	933	△7,072
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	735,858	333,638
現金及び現金同等物の期首残高	569,419	1,500,504
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,305,278	1,834,142

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

当社グループは、情報通信機器販売並びにソフトウェア開発およびネットワーク構築から、納入したネットワークおよび付帯機器の保守サービスに至るITソリューション・サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

当社グループは、情報通信機器販売並びにソフトウェア開発およびネットワーク構築から、納入したネットワークおよび付帯機器の保守サービスに至るITソリューション・サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。